

島根県の教職員として求められる基本的な資質・能力

豊かな人間性と教職に対する使命感

人間理解，人権意識にかかわるもの

(例) 人間尊重・人権尊重の精神，人としての幅広い視野・知識，男女平等の精神，ボランティア精神，多様な価値観を尊重する態度

教職に対する誇りと責任の自覚にかかわるもの

(例) 教職に対する情熱・意欲，組織の一員としての自覚と協同の精神，主体性，学校運営のための豊富な専門的知識，幅広い識見及び指導力

ふるさとを愛する心にかかわるもの

(例) 地域の歴史・文化を理解し尊重する態度，郷土を愛し担う人材育成への意欲，地域に対して積極的に働きかける態度

子どもの心身の発達と心の動きに対する理解と対応

子ども理解にかかわるもの

(例) カウンセリングマインド，幼児・児童・生徒観，洞察力と分析力，個に応じた指導力

子どもをとりまく人との関係構築にかかわるもの

(例) 対人間関係能力，ネットワーキング能力（地域，家庭，関係機関と円滑な関係を築く能力）

職務にかかわる専門的知識・技能及び態度

教科等の指導にかかわるもの

(例) 各教科等に関する豊かな知識・技能，指導に関する専門的な知識・技能・態度，子どもの個性や課題解決能力を生かす能力，体験に基づいた豊富な知識・技能・理解，地域の人材や資源・施設等の活用能力

社会の変化に適応する能力にかかわるもの

(例) 継続的な自己教育力，豊かな自己表現能力，メディアリテラシー，他の地域や他国の歴史・文化を理解し尊重する態度，国際社会に貢献する態度

県教育委員会が実施する研修

学校や教育研究団体・市町村
教育委員会等が実施する研修

必修的研修

自主的研修等

管理職研修

各主任等研修

教職経験者
研修

11年目
6年目
短期社会体験
研修(3年目)

初任者研修

派遣研修

(長期社会体験研修・大学院派遣・海外派遣等)

セミナー研修

(県教育委員会として必要な教育課題に対応した研修)

能力開発研修

(社会の変化等に適切に対応するため教職員が自主的な参加に
よってその能力の向上を図る研修)

各学校が実施する研修
(校内研修)

教育研究団体等が実施する研修
市町村教育委員会が実施する研修

教職員が個人的に実施する研修
(大学院修学休業制度等)

教 職 員 の メ ン タ ル ヘ ル ス の 在 り 方

資質向上中間まとめ(マナロG) 16.2.23

現 状 と 取 り 組 み	取 り 組 み 状 況	課 題																																																				
<p>○心の健康相談 ・相談件数が年々増加している。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th></th> <th>H13</th> <th>H14</th> <th>H15</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>専門カウンセラー</td> <td>7件</td> <td>10件</td> <td>16件</td> </tr> <tr> <td>保健師</td> <td>25</td> <td>21</td> <td>51</td> </tr> </tbody> </table> <p>※H15は12月までの実績。相談件数の増加は、巡回保健指導でメンタルを重点に取り組んだ要因もある。</p> <p>○管理監督者のアンケート結果から(マナロG研修会(111人中:回収率86%)) ・職場でのメンタル対応に苦慮しているケースがある。 ・全体23件 内訳 高校 15件 義務 8件</p> <p>○私傷病休暇取得者の状況から(H14年度:教育職員のみ) ・教育職員の私傷病休暇者で、「精神及び行動の障害」(傷病分類別)が最も多い。 ・休暇取得者総数 123人 ・精神及び行動の障害 29人(23.5%)</p> <p>○私傷病審査分科審議会結果から(H4~H14) ・新規の復職等審査件数が増加している。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H4~8</th> <th>H9~13</th> <th>H14</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>審査件数</td> <td>4.2件</td> <td>8.0件</td> <td>11件</td> </tr> </tbody> </table> <p>※H4~8、H9~13については平均値</p> <p>・初回審査年齢は、30代、40代の割合が高い。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th>年代</th> <th>20代</th> <th>30代</th> <th>40代</th> <th>50代</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>高校</td> <td>11.1%</td> <td>63.0%</td> <td>25.9%</td> <td>0.0%</td> </tr> <tr> <td>義務</td> <td>11.3</td> <td>50.0</td> <td>27.4</td> <td>11.3</td> </tr> <tr> <td>全体</td> <td>11.2</td> <td>53.9</td> <td>27.0</td> <td>7.9</td> </tr> </tbody> </table> <p>※復職等審査の初回審査人数割合</p> <p>○疾病受療状況から(H13:8,156人中) ・「精神及び行動の障害」の受療 ・実人数に占める割合 1.5% ・一人当たりの診療日数 14.5日/年 ・全疾病の一人当たりの診療日数 5.1日/年</p> <p>○現職死亡者数(概数)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H10</th> <th>H11</th> <th>H12</th> <th>H13</th> <th>H14</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人数</td> <td>12人</td> <td>5人</td> <td>5人</td> <td>4人</td> <td>11人</td> </tr> </tbody> </table>		H13	H14	H15	専門カウンセラー	7件	10件	16件	保健師	25	21	51	年度	H4~8	H9~13	H14	審査件数	4.2件	8.0件	11件	年代	20代	30代	40代	50代	高校	11.1%	63.0%	25.9%	0.0%	義務	11.3	50.0	27.4	11.3	全体	11.2	53.9	27.0	7.9	年度	H10	H11	H12	H13	H14	人数	12人	5人	5人	4人	11人	<p>○相談 ・専門カウンセラー ・保健師</p> <p>○研修 ・衛生管理者等対象 ・メンタル研修を実施(H14) ・管理監督者対象 ・メンタル研修会(毎年度実施) ・職場における管理監督者の役割等を実施(H15) ・一般職員対象 ・「生活習慣病予防講座」に心の健康づくりを含めて実施(H15)</p> <p>○広報 ・「福しまね」の活用 ・チラシ、パンフレット配布</p> <p>○その他 ・「教職員健康相談24」の実施(共済組合)</p>	<p>○メンタルヘルスは、職場挙げての取り組みが必要 ・早期発見、早期対処、フォローアップの環境整備</p> <p>○相談体制が<u>東部に集中している</u>。 ・利用しやすい相談体制の検討 ・利用者がまだ少ない。 ・相談体制の周知</p> <p>○研修 ・若年層、中間層への研修ができていない。(特に<u>30歳代、40歳代への研修が必要</u>)</p> <p>○明確な職場づくりの体制として職場における「衛生管理体制」が不十分 ・衛生管理者の選任を、<u>管理的立場にある者にするのが望ましい</u>。</p> <p>○メンタルヘルスに関する実態把握が不十分 ・休暇取得状況、現職死亡原因の状況等 ・個人のストレス状況の把握 ・管理者等の職場におけるメンタルヘルスについての認識と状況把握</p>
	H13	H14	H15																																																			
専門カウンセラー	7件	10件	16件																																																			
保健師	25	21	51																																																			
年度	H4~8	H9~13	H14																																																			
審査件数	4.2件	8.0件	11件																																																			
年代	20代	30代	40代	50代																																																		
高校	11.1%	63.0%	25.9%	0.0%																																																		
義務	11.3	50.0	27.4	11.3																																																		
全体	11.2	53.9	27.0	7.9																																																		
年度	H10	H11	H12	H13	H14																																																	
人数	12人	5人	5人	4人	11人																																																	